



2009 平成21年 5

誌面に掲載した記事・写真等の無断複製・転載等はお断りします。お問い合わせ・ご意見は狛江市地域活性課へ

発行 ● 狛江市地域活性課
〒201-8585 狛江市和泉本町 1-1-5
☎3430-1111 FAX3430-6870
Email=wacco@city.komae.lg.jp
編集・制作 ● 特定非営利活動法人 k-press
〒201-0012 狛江市中和泉 3-2-16
プランツベルツ 201
☎3430-6617 FAX3430-6743
Email=wacco@k-press.net

旧野川を緑道に再生した さんぽ道

野川緑地公園



野川緑地公園（幅8～10m、延長約2,300m）狛江市の中央を流れていた旧野川の川筋に造られた公園。ソメイヨシノや八重桜など約4500本の樹木に加え、道の両側や中央には草花を植えた花壇が整備され、四季折々の花が楽しめる。野鳥が訪れるようウメ、ビワなどの果樹が多く植えてあるのも特色。滑り台や砂場、鉄棒などの遊具で遊ぶ親子連れや、犬の散歩、ジョギングなど、利用する人も幅広く、人影が絶えない。一中通りとの交差点から小金橋までの区間は歩行者専用になっており、トリム運動のために100m



小金橋

ごとの標識も立っている。国分寺市から世田谷区二子玉川まで約20.5kmを流れて多摩川に注ぐ野川は、かつて農業用水や生活用水などに幅広く利用された。しかし、流域の都市化で度々はらんをくり返すようになり、狛江では昭和33年と41年には大きな水害が起きた。水害防止のため、現在の水路に変更することになり、42年に工事が完成した。狛江市は旧野川の川筋に下水道管を敷設するとともに、地上部を公園化することにし、49年に着工、52年にオープンした。公園には、野川が流れていたことを示す橋のらんかんや改修記念碑が残り、かつてのおもかげをしのばせている。



大橋改修記念碑



御台橋らんかん

■おすすめコース■ いちよう通り交差点→ビン・缶リサイクルセンター→北久保公園（おじいちゃんのエノキ）→御台橋→にしのがわ第1市民農園→野川地域センター→大橋→野川北公園→西野川樹林地→野川合流点（太字は掲載したポイント）

ビン・缶リサイクルセンター（岩戸北1-1-11）は市内で集められたビンと缶、ペットボトルの選別と容量を減らす作業を行っている施設。リサイクルに関する講習会や展示なども随時行われている。工場内の見学は☎3488-5300清掃課へ。



ビン・缶リサイクルセンター



西野川樹林地



北久保公園

北久保公園（和泉本町2-23）は広さ200㎡に樹木や草花が植えられている。平成14年に東和泉の絹山ムメさんが公園に隣接する生産緑地を市に寄贈、野川緑地公園と一体化した公園として整備された。公園の中心に立つ残ったおじいちゃんのエノキは、高さ15m、幹周り2.3mもあり、樹齢100年以上という大木で、緑地公園の中でもひとときわめだつ存在。ムメさんは、夫の明さんが亡くなった時、「エノキは生長が遅く、ここまで大きくなるには時間がかかる。夫が大切にしていた木をぜひ残したい」と子どもたちと相談、木を残す条件付きで土地を寄贈した。

西野川樹林地（西野川12-36）には、1450㎡の松、ミズキなどがうっそうと茂り、昼も薄暗い雑木林。隣接する富永直子さんは「40年ぐらい前は野川の流域にこういう林が川と畑との間にたくさんあって、風よけや水の害を防ぐにも役立っていたようです。昔のおもかげが残っているのは、この樹林地ぐらいですね」と話している。



野川地域センター

野川地域センター（西野川11-6-9 ☎3480-2211）は、地域のコミュニティ活動の拠点として親しまれている。115㎡の多目的ホール、大会議室、小会議室、音楽室、料理実習室、陶芸窯のある創作室、図書室などがある。野川緑地公園を歩くとときの休憩やトイレにも利用できる。開館午前9時～午後9時30分 休館第2・4火曜日。



にしのがわ第1市民農園

にしのがわ第1市民農園（西野川11-1）は広さ約700㎡を35区画（15㎡）に区切って市民に貸し出している。「おいしい野菜を作りたい」というサラリーマンや「退職後に始めたが、楽しい」という高齢者などがミニ菜園の耕作を楽しんでいる。農園の隣で農業をしている栗山久一さんは「みなさんすごく熱心で、本格的な人も多い」と話し、利用者にアドバイスすることも多いという。市民農園は非常に人気が高く、今春の募集は約6倍の応募があった。



緑地公園のアイドルになっているのが、西野川12丁目の小杉善治さん、弘美さん夫妻が飼っているミニチュアホースの「ナノ」。毎朝、小杉さん夫妻が愛犬2匹とともに野川地域センター付近から小金橋を経て小足立のびのび公園まで散歩させる姿（写真）はすっかりおなじみで、声をかける人も多く、ベンチで待っているお年寄りもいる。ナノはアメリカン・ミニチュアホースと呼ばれる種類で、体高約95cmと馬の中では最も小さい。「野川緑地のふんいきが好きで7年前に越してきた」動物好きの小杉さん夫妻は、6年前から緑地公園に接する自宅の庭でナノを飼い始めた。公園に来る人の中にはフェンス越しに馬を見つめる人も多い。小杉さんは「ナノが来てから多くの知り合いができ、よかった」と喜んでいる。ただ、体調を崩すことがあるため、エサを与えないと話している。

野川地域センター付近から小金橋を経て小足立のびのび公園まで散歩させる姿（写真）はすっかりおなじみで、声をかける人も多く、ベンチで待っているお年寄りもいる。ナノはアメリカン・ミニチュアホースと呼ばれる種類で、体高約95cmと馬の中では最も小さい。「野川緑地のふんいきが好きで7年前に越してきた」動物好きの小杉さん夫妻は、6年前から緑地公園に接する自宅の庭でナノを飼い始めた。公園に来る人の中にはフェンス越しに馬を見つめる人も多い。小杉さんは「ナノが来てから多くの知り合いができ、よかった」と喜んでいる。ただ、体調を崩すことがあるため、エサを与えないと話している。